

記述問題

A. 以下の各問いに対して説明をしなさい。

1. 摂食・唾下運動は、食物を認識して口に取り込むことに始まり、胃に至るまでの一連の過程を指す。口腔で咀嚼された食塊は咽頭へとおくられていくが、この時食塊には周囲の臓器からの様々な圧が生じ、いわゆる“圧差”によって食塊は移動する(移送される)。この過程では、どの構造と事象が圧差の発生の原因となっているのか、解説してください。
2. 摂食・嚥下に必要な機能についてstage(あるいはphase)ごとに説明してください。
3. 三大認知症であるアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症(前頭側頭型認知症)について、摂食嚥下行動における異常徴候を疾患別に列挙してください。

B. 次の問いに対してあなたの考えを書いてください。

1. 国による在宅医療の促進は、患者が住み慣れた環境で療養できるという側面がある一方、コスト重視の観点から、医療への依存度が高い患者の切り捨てに繋がるのでは等の懸念も考えられます。
現在の日本の介護や医療の現場には様々な課題があると思いますが、上記の点をふまえ、より良い介護や医療をおこなっていくにはどのような考えや取り組みが必要だと思いますか？